

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月30日	作成者名	梶山 浩	評価者名	松山 由紀
-----	-------------	------	------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	中心となる課	こども青少年部・こども家庭課
分野	01 子育て支援	関係課	こども青少年部・保育幼稚園室
施策	01 子育て不安の解消		こども青少年部・児童青少年課
施策の目的	市民が安心して楽しく子育てができる環境を整備し、子育てにおける孤独感や不安感を解消します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	こども家庭相談センター事業
取り組み②	地域子育て支援拠点事業
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
訪問件数	子育て家庭の相談に対する家庭訪問及び子育て関連施設への訪問件数	件	452	352	666	785	673	867	
地域子育て支援拠点利用者数	保護者と児童の年間利用延べ人数	人	116,405	110,862	117,726	110,842	101,593	81,102	
子育て支援事業の市民参加人数	子育て支援事業及び講座の参加人数	人	440	400	787	672	468	535	
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市においては、核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育て中の保護者の孤独感や不安感が高い。一方で、情報が届きにくい家庭や、自ら相談に来られない保護者に対する働きかけも課題である。 また、地域住民同士の交流を促進し、自ら主体となって助け合う仕組みづくりも必要である。さらに、増加する児童虐待事案等に切れ目なく継続的に対応していくための組織の体制強化が必要である。 	対応策	<ul style="list-style-type: none"> 親子の交流や情報交換、子育ての悩みを気軽に相談できる場として、地域子育て支援拠点へのニーズは高い状態にあるため、子育てコーディネーターの配置、母子保健部門との連携をさらに強化していく。 地域の子育て支援の人材育成や子育てサロンの充実化を図っていく。さらに、相談事業では、子育て関連施設などへのアウトリーチ支援を継続して実施し、早期発見、早期対応に努めるとともに、「子ども家庭総合支援拠点」の令和3年4月設置に向け準備を進める。
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	子ども家庭相談への訪問件数は近年大きく伸びている。また、地域子育て支援拠点の利用人数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少となったが、講座等の参加人数は目標を上回った。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	こども家庭相談センター機能を強化するため、専門職の配置や人員の拡充が必要である。地域子育て支援拠点事業は、利用人数も高い数値で推移しており、引き続き、地域の様々な資源を活用して、子育て家庭へのきめ細かい支援を継続する。
↑		

(評価者コメント)

本市は、子育て不安の解消や負担軽減等に資する対策を積極的に展開してきたが、今後も、母子保健や教育委員会などとの連携をさらに密にしていく。また、今後は子育て世代のニーズ動向や優先度をよく見極めて、行政サービスの整理統合も検討する。なお、令和3年度は、「子ども家庭総合支援拠点」の設置を目指す。

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月30日	作成者名	梶山 浩	評価者名	松山 由紀
-----	-------------	------	------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 3 予 算 額	事業費 うち 一般財源				
		事業コード		R 3 計 画 額	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度	コメント						
		事業内容					R1決算額										R2予算額			
		事業内容					事業費										うち一般財源			
		R1決算額				R2予算額				R3計画額				R3予算額						
02 児童福祉事務費 (こども家庭課)																				
	01	児童福祉事務費		48,595												22,660				
		01	03	02	01	02	01		1						予					
		※予算編成用シート(指標等未設定)		22,228												22,208				
				22,324																
10 こども家庭相談事業 (こども家庭課)																				
	01	こども家庭相談センター事業		23,543												22,958				
		01	03	02	02	10	01		2	○	A	B	B	B	2	○	義	令和3年4月「子ども家庭総合支援拠点」を設置予定である。		
		月～金曜日の午前9時から午後5時までの間に、家庭及び		22,296												13,901				
				12,326																
11 地域子ども・子育て支援事業 (こども家庭課)																				
	02	地域子育て支援拠点事業		28,865												32,299				
		01	03	02	02	11	02		1		A	B	B	B	1		義			
		①子育て中の親子の交流、ふれあい、つどいの場を提供す		31,559													23,952			
				21,561																
				5,684																
	03	産前産後支援ヘルプサービス事業		1,711												4,784				
		01	03	02	02	11	03		6		A	B	B	A	6		B	受託業者の複線化など、事業の推進体制を検討していく必要が生じている。		
		家事援助(掃除、洗濯、買い物、食事の準備等)及び育児		2,079													4,784			
				5,824																
				959																
04 子育て支援センター事業 (保育幼稚園室)																				
	01	子育て支援センター事業		2,592												7,921				
		01	03	02	02	04	01		1		B	B	B	B	1		義			
		子育て家庭への支援活動の企画調整、(子育て広場開催・		7,815													7,914			
				7,921																
				2,440																
				13,696																
計 (千円)																				
				事業費	105,306	R1決算額	95,895	R2予算額	91,861	R3計画額	90,622	R3予算額								
				うち一般財源	88,916		81,245		74,349		72,759									

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和3年度で終了 8 令和2年度で終了 9 令和元年度で終了